

令和6年度 1学期始業式 あいさつ

おはようございます。3月の離任式ではお世話になった先生方とのお別れがありました。そして、先ほど新任式で、12名の先生方をお迎えし、令和6年度がスタートしました。

あらためまして、昨年度に続き、今年度も学校長を務めることとなりました石川裕之です。よろしくお願いいたします。さて、みなさんの、深志高校でのこれまでの2年間あるいは1年間はいかがだったでしょうか。充実していましたか。昨年度は様々な学校行事や校外の行事が元の通りに行われるようになってきました。そうした中で、皆さんが澁瀨と活躍する場面をたくさん見る事ができて、本当に嬉しかったです。今年はさらにその充実期にあたります。感染症の時期を経たからこそ、以前の行事の課題・問題点をしっかり把握して、毎年マニュアルを引き継いで繰り返していた時にはできなかった改革も可能になると思うのです。新たな価値に再構成することを恐れずに、ポスト感染症の時代の活動を作り上げてください。そして、終業式でお話をしましたように、相手に対しても、自分に対してもプラスになるようなクリティカルな姿勢を持ち、さらには、深志高校での諸活動が自分や社会のウェルビーイングの形成につながるよう行動してほしいというのが願いです。

さて、今日はタイトなスケジュールですので、短めに身の回りの話題を一つだけしたいと思います。3月の卒業式の際に配布された生徒会誌校友73号を読ませていただきました。私の「校友」のいつもの読み方と言えば、まず、生徒会長の巻頭言に続いて、3年生の一人一言を読んで納得したり笑ったりします。次に先生方の似顔絵に感心して少し吹き出します。さらに部活動の足跡を読んで、へえ、こんな活動していたのか、がんばったな、と思い、生徒会だよりを読んで、役員の皆さんの思いや考え方に触れる。そして、徐々にその他の記事に目を通す…、こんな読み方をしていた私なのですが、今年は最初に自由寄稿に目がとまり、最初に一気に読み切ってしまうしました。自由寄稿っていうと、私の記憶が確かならば、クラスの中でジャンケンやくじ引きで選ばれた人、あるいは校友会誌編集委員が責任上自分で書いていたように思うのですが、違うのでしょうか。自分から進んで書いたんだという人がいたら、ごめんなさい。ただ、今でももし外れくじを引いて書いた人がいたとしたら、仕方が無くて書いた文章とはとても思えない、全体としてはとても個性的な文章が並んでいて、深志生の真骨頂を発揮していると感じました。まあ、中には、締め切りにギリギリ間に合わせた、って人も見られたような気はしましたが。

私が今回自由寄稿が気になったきっかけは、1年生のシーロックホームズと読書とスマホの関係を記述した文章が目にとまったからです。私も何を隠そう

シャーロキアンで、小学校 6 年生から中学生にかけてハマっていました。学校の図書館にあったシリーズ本をすべて読み、鶴林堂に行っては単行本も買って読み漁ったのが私の読書のスタートでした。おじさんになった今も、このあいだは、Eテレの 100 分で名著の 3 回シリーズも録画して見てしまいました。1 年生の文章に大いに共感を得ながら、次々と自由寄稿を読み進みました。鉄道話や、旅の話し、地元の話し、部活の話し、さらには私のような凡人にはちょっと不思議な考察など、魅力的な体験談が続きます。全体としては、やはり自分の推しに関する話が多かったように思います。一方、2 年生の皆さんの文章になると高校生活の振り返りや、やはり相当印象に残ったのでしょうか、研修旅行の思い出深い話が複数見られます。自分自身に対するフィードバックがかなり深まっていて、そこには個性的な思索が加わり、哲学さえ感じました。

一つ一つのお話は、そんな偉大な物語ではないけれど、個性を放っている。私は、小さな推しとかこだわりとかを、大切にしてほしいと思います。成績で学年上位とか、大会で県代表とか、そんな大それた輝きは放つことは難しいかもしれないけれど、皆さんがそれぞれ持っている大小さまざまな輝き、それはきっと好きなことだとか楽しいことだとか、「なぜ」と思う気持ちからきているのだと思います。それを人と比較するのではなく、自分自身の宝物として、育ててほしいと思います。そしてそのエネルギーをモチベーションに転換して、進路に

も挑戦して行って欲しいと思います。

この 1 学期は各部活とも大会や発表会を控えています。そして生徒会と各部活においては、文化祭に向けての準備がスタートします。併せて 3 年生は進路に向けての準備を本格化させ、2 年生は昨年の経験に基づき、学びを深化させていく大切な時期にもなります。緑濃く、華やぐ季節に、皆さんも青春を花開かせてください。

すてきな 1 学期に、そして充実した 1 年にしましょう。皆さんの幅広い才能が地道な努力により開花し、多方面で活かされていくことを期待しています。ただ、もし何か心配なことがあれば、自分一人で抱え込むのではなくて、周囲の方々、特に先生方に相談していただき、心とからだの健康を第一に考えていただきたいと思います。良い一年になりますように。終わります。